

令和3年9月15日

イマジン・グローバル・ケア株式会社に対する景品表示法に基づく 課徴金納付命令について

消費者庁は、本日、イマジン・グローバル・ケア株式会社（以下「イマジン・グローバル・ケア」といいます。）に対し、同社が供給する「ブロリコ」と称する食品に係る表示について、景品表示法第8条第1項の規定に基づき、課徴金納付命令（別添参照）を発出しました。

1 違反行為者の概要

名 称 イマジン・グローバル・ケア株式会社（法人番号 8010001141743）
所 在 地 東京都港区六本木三丁目16番12号六本木KSビル8F
代 表 者 代表取締役 木下 弘貴
設立年月 平成18年4月
資 本 金 1000万円（令和3年9月現在）

2 課徴金納付命令の概要

(1) 課徴金対象行為（違反行為）に係る商品
「ブロリコ」と称する食品（以下「本件商品」という。）

(2) 課徴金対象行為

ア 表示媒体

(ア) 「ブロリコ研究所」と称する自社ウェブサイト（以下「自社ウェブサイト」という。）
(イ) 「免疫力を高めるブロリコとの出会い」と題する冊子（以下「冊子」という。）
(ウ) 「病気を予防したいあなたへ。」等と題するチラシ（以下「チラシ」という。）

イ 課徴金対象行為をした期間

平成28年11月2日から平成31年1月28日までの間

ウ 表示内容（表示例：別紙1－1ないし別紙8）

イマジン・グローバル・ケアは、本件商品を一般消費者に販売するに当たり、遅くとも平成28年11月2日から平成31年1月28日までの間、自社ウェブサイトを通じて「ブロリコ」と称する成分に係る資料を請

求した一般消費者に対して、冊子及びチラシを送付するとともに、本件商品の注文はがき付きチラシ及び本件商品の無料サンプルを送付していたところ

(ア) 自社ウェブサイトにおいて、例えば、トップページにおいて、「免疫力を高める方法についての情報 ブロリコ研究所」、「免疫低下で病気を招く」及び「免疫を高めるブロリコ」、「もっと知りたい！ 今話題のブロリコと自然免疫活性成分って？」並びに「免疫力を高めるブロリコ」と表示するなど、別表1「表示期間」欄記載の期間に、同表「表示箇所」欄記載の表示箇所において、同表「表示内容」欄記載のとおり表示することにより

(イ) 冊子及びチラシにおいて、例えば、冊子において、「免疫力を高めるブロリコとの出会い」、「免疫が下がるとあらゆる疾病リスクが高まる」等と表示するなど、別表2「表示期間」欄記載の期間に、同表「表示媒体」欄記載の表示媒体において、同表「表示内容」欄記載のとおり表示することにより

あたかも、本件商品を摂取するだけで、免疫力が高まり、疾病の治療又は予防の効果が得られるかのように示す表示をしていた。

エ 実際

前記ウの表示について、消費者庁は、景品表示法第8条第3項の規定に基づき、イマジン・グローバル・ケアに対し、期間を定めて、当該表示の裏付けとなる合理的な根拠を示す資料の提出を求めたところ、同社から資料が提出された。しかし、当該資料は、当該表示の裏付けとなる合理的な根拠を示すものであるとは認められないものであった。

オ 打消し表示

前記ウの表示について、平成30年2月1日から平成31年1月28日までの間、チラシに掲載された体験談において、「※個人の感想であり体感には個人差があります。」と表示していたが、当該表示は、一般消費者が前記ウの表示から受ける本件商品の効果に関する認識を打ち消すものではない。

(3) 課徴金対象期間

平成28年11月2日から平成31年3月7日までの間

(4) 景品表示法第8条第1項ただし書に該当しない理由

イマジン・グローバル・ケアは、本件商品について、前記(2)ウの表示の裏付けとなる根拠を十分に確認することなく、前記(2)の課徴金対象行為をしていた。

(5) 命令の概要（課徴金の額）

イマジン・グローバル・ケアは、令和4年4月18日までに、1億7889万円を支払わなければならない。

【本件に対する問合せ先】

消費者庁表示対策課

電話 03(3507)9126

ホームページ <https://www.caa.go.jp/>

別表 1

表示期間	表示箇所	表示内容
遅くとも平成 28 年 11 月 2 日から平成 31 年 1 月 28 日までの間	トップページ	<ul style="list-style-type: none"> ・「免疫力を高める方法についての情報 ブロリコ研究所」、「免疫低下で病気を招く」及び「免疫を高めるブロリコ」 ・「もっと知りたい！ 今話題のブロリコと自然免疫活性成分って？」 ・「免疫力を高めるブロリコ」 <p>(別紙 1-1)</p>
	トップページ上部の「免疫低下で病気を招く」とのハイパーリンクをクリックすると表示されるウェブページ	<ul style="list-style-type: none"> ・「免疫力を高める方法についての情報 ブロリコ研究所」、「免疫低下で病気を招く」及び「免疫を高めるブロリコ」 ・横軸に「0歳」、「20歳」、「50歳」、「80歳」、縦軸に「NK細胞の活性」、「0%」、「25%」、「45%」として、「NK(ナチュラルキラー)細胞の年齢による変化」及び「多田富雄『科学新聞』1980年を参考に作成」と付記された15歳頃をピークに年齢と共にNK細胞の活性が低下することを示唆するグラフと共に、「免疫力が下がると様々な病気を招く」、「自然免疫の活性が高い人ほど病気になりにくい」、「カラダに重要な免疫力。しかし、その免疫力は15歳頃をピークに年齢とともに低下します。」及び「病気や感染症をはじめとする、さまざまな病気にかかるリスクは年齢とともに増加します。」と記載。 ・「免疫力を高めるブロリコ」 ・「自然免疫を高める新規の成分『ブロリコ』を発見！」、「東京大学とイマジン・グローバル・ケアの共同出願により、自然免疫を活性化される成分を発見し、その成分を『ブロリコ』と名づけました。」及び「ブロリコは今まで世界に全くなかった新規の成分ということが東京大学の調べでわかっています。」 <p>(別紙 1-2)</p>

表示期間	表示箇所	表示内容
	トップページ上部の「免疫を高めるプロリコ」とのハイパーリンクをクリックすると表示されるウェブページ	<ul style="list-style-type: none"> ・「免疫力を高める方法についての情報 ブロリコ研究所」、「免疫低下で病気を招く」及び「免疫を高めるプロリコ」 ・「東京大学と特許取得、免疫力を高める新成分」、「1. ブロリコとは?」、「ブロリコとは、東京大学とイマジン・グローバル・ケア社が共同で特許を取得したブロッコリーの新成分です。」、「現代の日本では、年齢に伴う体の変化、異常な細胞の増殖やさまざまな病気、薬の副作用によって、自分でも気づかないうちに免疫力が下がってしまい、『病気になりやすい』、『症状が改善しない』、『薬物治療と副作用がつらい』という悩みを持つ方がたくさんいます。」及び「ブロリコは、人の免疫力を大きく高めることができが実証され、免疫学の世界的権威や医療業界から注目されています。」 ・「病気とたたかうあなたに」及び「免疫力を高めるプロリコ」 ・「ブロリコ」に係る数値が「770」、「β—グルカン」に係る数値が「14」、「メカブフコイダン」に係る数値が「12」、「DHA」に係る数値が「<10」、「スルフォラファン」に係る数値が「<7」、「EPA」に係る数値が「<4」、「アサイー」に係る数値が「3.1」、「プロポリス」に係る数値が「<0.4」とする、「食品の活性率 比活性(Unts/mg) 1000倍以上」と付記されたグラフと共に、「3. アガリクスやフコイダンをはるかに上回る免疫効果」、「ブロリコは免疫細胞の働きを高めますが、その中でも白血球の20%を占めるNK細胞(ナチュラルキラー細胞)と好中球の働きを高めます。そして、その効果は他の食品成分よりもはるかに高いことが実証されています。」、「・アガリクス(β—グルカン)の約50倍」、「・メカブフコイダンの約60倍」、「・DHAの70倍以上」、「・スルフォラファンの100倍以上」、「・アサイーの約24

表示期間	表示箇所	表示内容
		<p>0倍」、「・プロポリスの1000倍以上」及び「また、世界的医学誌 <i>Lancet</i> に掲載された埼玉県立がんセンターの研究では、NK細胞の働きが弱いと病気の発症リスクが高くなることが明らかにされています。とした観点からも、免疫向上成分ブロリコがいま注目されています。」と記載。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「免疫力と病気の関係」と題し、「免疫機能」及び「感染症・がん」と付記された免疫機能が低下すると感染症・がんの発症が高まることを示唆するグラフを掲載。 ・「5. 免疫力を高めるブロリコは、日本・米国・欧州で特許を取得」 ・「6. どうすれば摂取できるのか?」、「ブロリコはブロッコリーにわずかにしか含まれない希少成分のため、食事で摂取することはできません。」及び「東京大学と特許を共同取得した特殊な製法によって抽出して凝縮することが、摂取するための唯一の方法です。」 <p>(別紙1-3)</p>

別表2

表示期間	表示媒体	表示内容
遅くとも平成28年11月2日から平成31年1月28日までの間	冊子	<p>・「免疫力を高めるブロリコとの出会い」</p> <p>・「あなたの体を守るのは、あなただけです。」と題し、「最近、お体の具合はいかがですか。当てはまるものがないか、健康チェックをしてみましょう。」、「□□内炎やヘルペスができる」、「□風邪をひくと長引く」、「□花粉症やアトピーの症状の悪化」及び「2つ以上にチェックが付いた方、免疫力が低下している可能性があります。」と記載。</p> <p>・「『免疫』とは、細菌やウイルスなど、病原体の攻撃から私たちのカラダを守る仕組みをいいます。」、「私たちのカラダのなかには、白血球を主体とする無数の免疫細胞があり、普段、それらは絶えず体中を動き回っています。そして、たとえば転んで傷ができる、そこから病原体が侵入してきたような場合は、免疫細胞が協力して病原体を撃退し、その後、また体内に散って、動き回ります。」、「簡単に言ってしまうと、免疫とは自分のカラダとは異なる『異物』を排除する機能と言えます。」、「私たち人間には、『自然免疫』と『獲得免疫』の2つの免疫機能があることをご存じでしょうか。」及び「自然免疫とは、あらゆる生物に備わった、とても原始的な免疫機能です。異物とわかると、すぐに撃退し、カラダを健康な状態に保とうと働きます。ここで力を発揮するのは『NK細胞』です。NK（ナチュラルキラー）細胞は全身のいたるところに存在し、日々パトロールしてくれています。しかし、NK細胞が弱まってしまうと、ウイルスや病原体の増殖が抑えられず、『病気』になるリスクが一気に高まるのです。」</p> <p>・「自然免疫 体内に侵入した病原体を相手を特定せずに排除するシステム。」と題し、「マクロファージ」、「体に入ってきた病原菌を食べて殺す」、「NK細胞」、「ウイルスに感染したり、ふつうの細胞から発生した異常な細胞をみつけて攻撃」、「樹状細胞」及び「獲得免疫への連絡役」と記載。</p>

表示期間	表示媒体	表示内容
		<ul style="list-style-type: none"> ・「私たちの回りには、目には見えない病原体がいるところにウヨウヨいます。また、体内でも、絶えずがん細胞が生まれています。それにもかかわらず、私たちは簡単には病気になりません。私たちが健康でいられるのは、免疫のしくみが絶えず働いているおかげなのです。」、「しかし、この免役力も、他の身体機能と同じく、加齢とともに衰えていきます。NK細胞活性も、20代前後ごろをピークとして、年齢を重ねるごとに低下してしまうことがわかっています。また、加齢のほか、心身へのストレスによっても、免疫力が低下します。」及び「免疫力が低下してしまうと、風邪などの感染症はもちろん、深刻な病気を発症するリスクも高まります。」 ・「免疫が下がるとあらゆる疾病リスクが高まる」 ・「免疫力と病気の関係」と題し、「免疫機能」及び「感染症・がん」と付記された免疫機能が低下すると感染症・がんの発症が高まることを示唆するグラフと共に、「免疫は、20代前後をピークに、50代でピーク時の半分にまで下がることが分かっています。また、免疫力の低下に比例して、疾病リスクは高まっています。」と記載。 ・「年齢とともに低下する、免疫力。では、どうやってそれを高めていけばよいのでしょうか。」、「免疫学の権威、[REDACTED] [REDACTED]に『免疫力の高め方』を伺いました。」及び「[REDACTED]とにかく、いつもカラダを健康に保つためには、カラダ中をずっとパトロールしてくれるお巡りさんのような『自然免疫』、特にNK細胞を高めておくことがとても重要です。ですが、この自然免疫というのは、とてもストレスに弱いのです。」 ・「ブロリコ」に係る数値が「770」、「β—グルカン」に係る数値が「14」、「メカブフコインダン」に係る数値が「12」、「DHA」に係る数値が「<10」、「スルフォラファン」に係る数値が「<7」、「EPA」に係る数値が「<4」、「アサイー」に係

表示期間	表示媒体	表示内容
		<p>る数値が「3.1」、「プロポリス」に係る数値が「<0.4」とする、「食品の免疫活性率 比活性 (Units/mg) 1000倍以上」と付記されたグラフと共に、「ブロッコリーを食べただけでは吸収できない圧倒的な免疫活性力」と題し、「世界初、自然免疫をたかめる成分『ブロリコ』。」「ブロリコはあなたの体の自然免疫、なかでもNK(ナチュラルキラー)細胞、好中球を活性化させます。」「ブロリコの免疫活性力をより高めることで、多くの方の健康の役に立ちたい。」そう考えた研究チームは、ブロリコ抽出条件の実験を繰り返し行いました。」「その結果、良質な富士の雪解け水を使用すること、収穫して2日以内の新鮮なブロッコリーを使用するなどの条件により、活性力が高まることがわかりました。」「その結果、驚くべき免疫活性のパワーが現れました。」「免疫活性効果があると言われているβ—グルカン(酵母由来)の約50倍、海藻のネバネバ成分であるメカブフコイダンの約60倍、青魚などに含まれるDHAの70倍以上、ブロッコリーの新芽(ブロッコリースプラウト)に多く含まれるスルフォラファンの100倍以上、アマゾンの希少な果実アサイーの約240倍(※5)、ミツバチがつくりだすプロポリスにおいては1000倍以上のパワーがあることが確認されています。」「では、ブロッコリーを沢山食べよう、と思われるかもしれません。」「私たちも家庭で食べるブロッコリーからも、高い免疫活性力が得られるのか、検証を重ねました。」及び「しかし、ブロッコリーそのものでは、高い免疫活性力が示されませんでした。特殊な方法を用いて抽出した成分ブロリコだけが、高い活性を示したのです。」と記載。</p> <p>・「ヒトでの臨床試験で免疫活性を立証」と題し、「そこで、ヒトでの免疫活性効果を立証するため、臨床試験を行いました。」「20名の健康な方を対象に、1ヶ月ブロリコ抽出物を摂取してもらい、前後の結果を血液検査で比較しました。」及び「その結</p>

表示期間	表示媒体	表示内容
		<p>果、NK（ナチュラルキラー）細胞活性が平均して10%向上していました。また、胃炎改善、脂漏性湿疹改善、歯ぐき出血改善、体のだるさの改善、目の疲れが軽減、寝起きが良くなった、花粉症が楽になったなど、体調が良くなったという体感が伝えられました。また、女性の参加者から、ニキビが治った、肌のつやが良くなったなど、皮膚の状態が改善したという声がありました。精神的ストレスが軽減されたという人もいました。」と記載。</p> <p style="text-align: right;">(別紙2)</p>
遅くとも平成28年11月2日から平成31年1月28日までの間	チラシ	<p>・「糖尿病で、ほんとうに怖いのは、合併症です。」及び「糖尿病による悲劇を避けるには、『合併症』と、その『予防』についての正しい知識が大切です。」と記載、「三大合併症」と題し、「<input checked="" type="checkbox"/>神経障害」、「糖尿病性壞疽で、足を失う人が年間約3000人。」、「<input checked="" type="checkbox"/>網膜症」、「大人になってからの失明原因第1位。」、「<input checked="" type="checkbox"/>腎症」及び「人口透析導入の3分の1が糖尿病患者。」と記載、「糖尿病大血管症」と題し、「<input checked="" type="checkbox"/>動脈硬化」、「糖尿病は血管の病気、予備軍の段階から進行。」、「<input checked="" type="checkbox"/>狭心症・心筋梗塞」、「心臓の血管が傷つけられることによって発症。」、「<input checked="" type="checkbox"/>脳梗塞」及び「脳の血管が傷つけられることによって発症。」と記載、「感染症、その他の疾患」と題し、「<input checked="" type="checkbox"/>かぜ <input checked="" type="checkbox"/>インフルエンザ <input checked="" type="checkbox"/>肺炎 <input checked="" type="checkbox"/>結核 <input checked="" type="checkbox"/>膀胱炎 <input checked="" type="checkbox"/>腎孟炎 <input checked="" type="checkbox"/>口内炎 <input checked="" type="checkbox"/>歯肉炎 <input checked="" type="checkbox"/>皮膚炎 <input checked="" type="checkbox"/>胆嚢炎 <input checked="" type="checkbox"/>認知症 <input checked="" type="checkbox"/>白内障 <input checked="" type="checkbox"/>緑内障 等々。」と記載。</p> <p>・「糖尿病と免疫力との関係とは？」と題し、「糖尿病の人にとって免疫力は、糖尿病のコントロールと合併症の予防に大きく関わってきます。」、「高血糖が続くことで、免疫力の要となる白血球に悪影響が及び、免疫力が低下し、その結果、かぜ、インフルエンザ、肺炎、結核、膀胱炎、腎孟炎、口内炎、歯肉炎、皮膚炎、胆嚢炎など、ありとあらゆる感染症にかかりやすく、治りにくくなります。」、「そして、感染症にかかることにより、糖尿病そのもののコントロールがうまくいかなくなってしまうこと</p>

表示期間	表示媒体	表示内容
		<p>もあるのです。」、「また、免疫力が低下していると、ばい菌に打ち勝つことが難しくなるので、傷が重症になりやすいため、虫刺されや小さな傷も油断できません。」、「神経障害によって感覚が鈍くなっているため、怪我に気付かず、そこからばい菌が入り、腐ってしまうのです。」及び「これが壊疽（えそ）とよばれる状態です。」と記載、「国内では、年間約3千人が糖尿病性壊疽により、脚を切断しています。」、「さらに、脚を切断すると、その後の生命予後も悪くなり、切断後の5年生存率は約40～60%といわれます。」、「『ちょっとしたかぜや傷なら放っておけば大丈夫』は、糖尿病には通用しません。」、「合併症を起こす前から、免疫力を高めておくことがなにより大切なのです。」、「糖尿病で、ブロリコ成分を摂取いただいた方から、多くの体感のお声が届いています。」及び「次は、ぜひ、あなたのお役に立たせて下さい。」と記載。</p> <p>・「糖が気になる、あなたへ。」</p> <p style="text-align: right;">(別紙3)</p>
平成29年6月1日 から平成31年1月 28日までの間	チラシ	<p>・「<input checked="" type="checkbox"/>高血圧の原因となる生活習慣は、免疫力も低下させ、感染症や、その他の様々な病気にかかるリスクが高まる。」</p> <p>・「薬で血圧が下がっても油断は禁物！の理由」と題し、「そして、問題のある生活習慣は、身体を病気から守る要となる免疫力を低下させ、風邪やインフルエンザといった感染症はもちろん、肺炎、口内炎、膀胱炎、歯肉炎などあらゆる疾病にかかりやすくなります。」、「血圧が高いということは、『いろんな病気に注意して！』という体からのサインと、とらえるべきです。高血圧の人ほど、免疫力を高め、病気にかかるリスクを軽減する必要があります。」及び「ブロリコで高い免疫力を維持し、健康長寿を目指しましょう。」と記載。</p> <p>・「血圧が気になる、あなたへ。」</p> <p style="text-align: right;">(別紙4)</p>

表示期間	表示媒体	表示内容
平成30年2月1日 から平成31年1月 28日までの間	チラシ	<ul style="list-style-type: none"> ・「風邪やインフルエンザをあまく見ては、いけません！！」及び「年齢を重ねるほど大きなリスクを伴う風邪。合併症のリスクと免疫力に関する正しい理解が必要です。」と記載、「三大合併症」と題し、「☑気管支炎」、「比較的早い段階で発症し肺炎の原因となる」、「☑肺炎」、「日本人の死因第3位」、「☑急性呼吸不全」及び「呼吸機能が低下し、呼吸困難になる」と記載、「なぜ高齢者の風邪はリスクが大きくなるのか」と題し、「☑一般的に免疫力のピークは20歳前後であり、40歳ではピーク時の50%、70歳では、ピーク時の10%となります。そのため、単に風邪にかかりやすくなるだけではなく、重症化し、合併症を発症しやすくなるのです。」と記載。 ・「誰でもかかることのある風邪ですが、高齢者が風邪をひくと、若い頃と比較して免疫力が低下しているために、肺炎などの合併症を起こしやすく、注意が必要です。」、「原因が細菌なら、抗生素を使うことで効果が期待できます。しかし、風邪の原因の9割はウイルスです。ウイルスには、残念ながら、直接効く薬はありません。」、「インフルエンザの治療に使われるタミフルなども、直接ウイルスを殺すことはできず、これ以上増えないようにできるだけです。」及び「そのため、免疫力が落ちている高齢者が風邪をひいた場合は、重篤になってしまふことが多いのです。」 ・「高齢者に多い風邪による3つの合併症」と題し、「高齢者は、ただの風邪から、合併症を起こすことによって入院が必要になったり、さらに重症化してしまったりする危険性があります。」、「風邪が原因となる主な合併症は次の3つです。」、「1つ目は肺炎です。風邪をひくと、ほこりや病原菌を排除する役割を果たしている鼻から喉までの上気道に炎症が起こり、機能が低下してしまいます。すると、病原菌が簡単に肺まで到達してしまい、そこで増殖した結果、肺炎を発症します。」、「もともと、高齢者は肺機能が低下している場合が多く、免疫機

表示期間	表示媒体	表示内容
		<p>能も低下しているので、若い世代の人と比べると、肺炎になるリスクが高いのです。」、「また、重症になって命を落としてしまうケースも多く、事実、厚生労働省が公表している日本人の死因第3位は肺炎です。」、「2つ目は気管支炎です。上気道に対し、下気道と呼ばれる気管支が病原菌に感染し、炎症を起こした状態です。」、「急性気管支炎は、風邪から比較的早い段階で合併し発症するもので、気管支炎も肺炎の原因になります。」、「3つ目は急性呼吸不全です。上記の気管支炎や肺炎は呼吸困難を引き起こす原因となります。」、「こうしたリスクを考えると、風邪を決してあまく見てはいけません。」、「日頃から、免疫力を高めることで、風邪を予防し、かかったときの回復力を高めることができます。」、「風邪を引きやすいという方で、ブロリコ成分を摂取いただいた体感のお声が多数届いています。」及び「次はぜひ、あなたのお役に立たせてください。」と記載。</p> <p>・「病気を予防したいあなたへ。」</p> <p style="text-align: right;">(別紙5)</p>
平成30年2月1日 から平成31年1月 28日までの間	チラシ	<p>・「花粉症で、ほんとうに大切なのは、免疫力です。」及び「花粉症の軽減には、体調を良い状態に保ち、免疫バランスを維持することが大切です。」</p> <p>・「ヒトの免疫力と花粉症の関係」と題し、「ヒトの免疫細胞は異物の種類に反応する細胞が決まっており、相互に作用しあう。花粉症シーズンの2～4月は、季節の変わり目で体調を崩しがちなため、免疫システム全体が不調をきたし、花粉症の症状も悪化しやすい。花粉症を抑えるには、まず免疫力を整えて、体調そのものを良くすることが大切。」と記載。</p> <p>・「近年、医療用では、鈍脳を起こしにくいタイプの抗ヒスタミン剤が数多く処方されていますが、市販薬(OTC医薬品)では、まだまだ鈍脳を起こしやすいタイプの薬が販売されているのが実態です。」及び「そのため、薬によって症状をおさえる</p>

表示期間	表示媒体	表示内容
		<p>だけでなく、免疫力を調節し、体調を整え、アレルギー症状の発症自体を軽くすることが大切です。」</p> <p>・「花粉症と免疫力の関係とは？」と題し、「花粉症の人は、鼻水や涙がでるといった悩ましい症状を直接的にどう抑えるかのみに関心が向かいがちです。しかし、花粉症もほかの病気と同じように、免疫力を整えて体調そのものを良くすることが、症状を軽減するためにはとても大切です。」、「なぜか」というと、ヒトの免疫システムは、それぞれの免疫細胞がどの異物に対して作用するかが決まっている一方で、全体のバランスというものが存在します。免疫細胞全体が正常に働くことで個別の免疫細胞も正常に機能し、何かが正常に機能しなくなると免疫全体に影響が出ることが多いのです。」、「ブロリコ成分は、NK細胞(ナチュラルキラー細胞)という免疫細胞を大きく活性化させ、免疫力を高めるブロッコリーの新成分です。」及び「免疫力が高まると、病原菌、ウイルス、体内で異常発生した悪性の細胞を撃退し、体調の向上・病気の改善という可能性があります。直接的に鼻水や涙が出るなどの花粉症の症状をおさえるものではありませんが、免疫力を高めることで体調が整うことが期待されます。」と記載。</p> <p>・「花粉症で、お悩みのあなたへ。」</p> <p style="text-align: right;">(別紙6)</p>
平成30年2月1日 から平成31年1月 28日までの間	チラシ	<p>・「免疫力の低下をあまく見ては、いけません！！」</p> <p>及び「免疫力は年齢とともに低下し、異常な細胞の抑制・除去が難しくなるので、免疫力に関する正しい理解と対策が必要です。」と記載、「免疫力の3つの働き」と題し、「<input checked="" type="checkbox"/>体内で発生した異常な細胞を見つけて攻撃(自然免疫)」、「<input checked="" type="checkbox"/>体内に侵入した病原体を相手を特定せずに排除(自然免疫)」及び「<input checked="" type="checkbox"/>一度体内に侵入した病原体を自動排除する仕組みをつくる(獲得免疫)」と記載、「なぜ年をとると異常な細胞が増えやすくなるの？」と題し、「一般的に免疫力のピークは20歳前後であり、40歳ではピーク時の50%、70歳ではピーク時の1</p>

表示期間	表示媒体	表示内容
		<p>0%となります。そのため異常な細胞を抑制・除去する力が弱くなり、異常な細胞が増えやすくなるのです。」と記載。</p> <p>・「実は、異常な細胞は毎日1000～2000個ほど身体の中で生まれています。ただ、免疫細胞がそれらを排除したり、『アポトーシス』という細胞を死に誘導する仕組みが働いたりすることで、人の健康は保たれています。」、「そのため、免疫力低下、異常細胞の発生増加といった状況が発生すると、異常細胞への対応が身体の中で追いつかなくなり、病気になってしまい可能性があるのです。」、「不規則な生活や食事をしていたり、ストレスの多い環境にいたりすると、人の免疫力は下がっていきます。また、たばこ、食べ物の焦げ、過剰な塩分などは、異常な細胞の発生を促進すると言われています。」及び「こうした事を避け、免疫力を高めることが、健康を守るために大切です。」</p> <p>・「免疫力は年齢とともに大きく下がる！？」と題し、「ただ、免疫力は年齢とともに大きく下がっていくという問題があります。一般的に、免疫力のピークは20歳前後であり、40歳ではピーク時の50%、70歳ではピーク時の10%にまで下がってしまいます。」、「また、年を重ねるといろんな病気にかかり、病院に行く機会や常用する薬が増えてしまいがちですが、薬の中には副作用でさらに免疫力を下げてしまうものがあります。」、「『免疫力が下がる→病気になる→活動量が落ちる・薬が増える→免疫力がさらに下がって、より病気にかかりやすくなる』という悪循環に陥ってしまうのです。」、「さらに、免疫細胞には身体に発生した異常な細胞を排除するという役割があるので、免疫細胞の働きが低下すると、異常な細胞が増えやすくなってしまいます。」、「実際、年齢が上がるにつれて、異常な細胞の増殖などが原因で体に異常が発生するリスクも高くなります。」、「また、免疫力が高い若い頃に比べると、風邪を引きやすくなったり、体調を崩しやすくなったりします。高齢の場</p>

表示期間	表示媒体	表示内容
		<p>合、ただの風邪でも、合併症を起こすことによって、重症になると命の危険が出てきてしまう場合もあります。」、「肺の機能も低下していることが多いので、肺炎などにもかかりやすくなるため注意が必要です。」、「日頃から免疫力を高め、異常な細胞とたたかう力、病原菌を排除する力を維持することが健康を守るために大切なです。」、「プロリコ成分は、NK細胞（ナチュラルキラー細胞）とよばれる自然免疫を大きく活性化させ、免疫力を高めるブロッコリーの新成分です。免疫力が高まると、病原菌、ウイルス、体内で異常発生した悪性の細胞を撃退し、体調の向上・病気の改善が期待できます。体調を崩しやすい方で、プロリコ成分を摂取いただいた体感のお声が多数届いています。」及び「次はぜひ、あなたのお役に立たせてください。」と記載。</p> <p>・「病気を予防したいあなたへ。」と題し、体験談として、「2013年9月医師から病気の診断を受け、すぐに手術を受けました。その後、細胞の免疫力アップが必要だと考え、インターネットや本などを調べてやっとたどり着いたのがこの『プロリコ』でした。それから摂取を続けていますが、先日検査に行き、診断の結果は良好でした。まだまだ先が心配ですが、本当にうれしかったです。」と記載、体験談として、「風邪をひきにくくなったり、それ以外に悩まされた問題も気にならなくなったり、旅行に行ってもあまり疲れなかった。今後も摂取したい。」と記載、及び体験談として、「診断を受けて以降、プロリコの摂取を開始しましたが、状態の悪化はありません。疲れにくくなったり、免疫力が上がっているように感じます。ずっと継続したいと思っています。」と記載。</p> <p style="text-align: right;">(別紙7)</p>
平成30年2月1日 から平成31年1月 28日までの間	チラシ	・「ニキビ・肌荒れ・肌ツヤに免疫力を忘れてはいけません！！」及び「ニキビや肌荒れの症状や肌ツヤを良くするためには、体調そのものを良い状態に保つことが大切です。」と記載、「肌の悩みとターン

表示期間	表示媒体	表示内容
		<p>オーバーと免疫力」と題し、「肌のターンオーバーの乱れで、肌トラブルが起きやすくなります。そして、ターンオーバーは、ホルモンバランス、内臓の状態など、様々な要素の影響を受けています。」及び「肌の問題には、化粧品や薬によるケアだけでなく、免疫力を高めて、体調そのものを良い状態に保つことも大切です。」と記載。</p> <p>・「肌と免疫力の関係とは?」と題し、「しかし、肌の問題もほかの悩みと同じように、免疫力を高めて体調そのものを良くすることが、症状を改善する上でとても大切です。」、「地味なように思えますが、風邪などによって体調を崩さないようにし、体調を整えることは、肌を良い状態にする上でとても大切です。」、「つまり、肌トラブルの改善には、化粧品の見直しや塗り薬による対処といった直接的なケアに加え、免疫力を高めて体調全体を整えることが効果的です。」、「ブロリコ成分は、NK細胞(ナチュラルキラー細胞)という免疫細胞を大きく活性化させ、免疫力を高めるブロッコリーの新成分です。病原菌、ウイルス、体内で異常発生した悪性の細胞を撃退し、体調の向上・病気の改善に対して非常に効果的です。」、「直接的に肌にはたらきかける成分ではありませんが、免疫力を高め、体調を整えることでお体のお役にたちます。」及び「次はぜひ、あなたのお役に立たせてください。」と記載。</p> <p>・「肌トラブルにお悩みのあなたへ。」</p>

(別紙8)